森山まひるさん応援レポート

第53回日伊声楽コンコルソ2017
本選・ミニコンサート・表彰式

2017年7月21日（金）
東京文化会館　小ホール

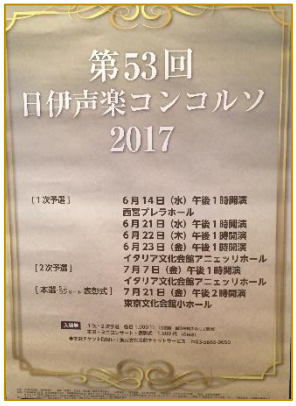
声楽コンクールでのヴァイオリン演奏

日伊声楽コンコルソ。次世代の日本オペラ界を担う人材発掘を目指して行なわれる国内有数の声楽コンクールである。始まりは1964年、今回で第53回目を迎える。
イタリア・オペラのアリアとイタリア歌曲を課題曲とした当コンコルソは、きわめて専門的、かつ芸術性の高いコンクールとして位置付けられている。毎年、100人を超える全国からの応募者で競われ、これまでにイタリアをはじめ、世界の舞台で活躍する優秀な声楽家を多数輩出している。

今回のエントリーは124名。本選は一次予選、二次予選を経て選ばれた10名により競われる。審査員には、世界で活躍するオペラ歌手やアーティストの方々のお名前。歴代の入賞者はもちろんのこと、審査員の方々の中にも、財団声楽部門奨学生OB・OGの方々の名前が並んでいる。
なお、財団は数年前から助成事業として日伊声楽コンコルソの支援を続けている。

森山さんは、本選後の「ミニコンサート」に登場。表彰式までの時間、ヴァイオリンの演奏を披露してくれることになっている。

会場の東京文化会館は、「首都東京にオペラやバレエもできる本格的な音楽ホールを」という要望に応え、東京都が開都500年事業として建設した施設。故前川國男氏設計による代表的なモダニズム建築としても知られ、1961年４月のオープン以来、『音楽の殿堂』として多くの人々に親しまれている。音響の素晴らしさには定評があり、オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演を行う大ホール（2303席）、室内楽やリサイタル等で使用される小ホール（649席）、その他、リハーサル室や各種会議室、さらに専門の音楽図書館である音楽資料室を備えている。



本選：響き渡る素晴らしい歌声

1位入賞＆歌曲賞：工藤和真さん（テノール）

本選は午後2時から。１次予選、2次予選を経た10名の方々による競演。ひとり約15分の持ち時間による演奏会形式で、イタリア・オペラのアリア2曲とイタリア歌曲の計3曲をそれぞれが歌うという選考方式である。

今年はソプラノ6名、テノール4名の方々が出演され、朗々と美しい歌声を披露してくれた。実力者10名の素晴らしい歌声を次々に。東京文化会館小ホールの響きの美しさともあいまって、なんとも贅沢な時間であった。

表彰式。1位は工藤和真さん、2位は澤﨑一了さん、3位に内田千陽さん。
本選出場者の中で、特に将来有望と目される若手テノール歌手に贈られる「五十嵐喜芳賞」、財団が助成している賞である。こちらは、2位の澤﨑一了さんに贈られた。

2位入賞＆五十嵐喜芳賞：
澤﨑一了さん（テノール）

3位入賞：内田千陽さん（ソプラノ）

表彰式

1～3位入賞者及び入選者の皆さん

写真ご提供：日伊音楽協会（このページのもの全て）

力強くキレのある演奏。ヴァイオリンとの一体感

森山さんは本選後の「ミニコンサート」に登場。表彰式までのあいだ、来場のお客様にお楽しみいただくという位置づけだ。
シベリウスのヴァイオリン協奏曲を河地恵理子先生のピアノで聴かせてくれる。

演奏するシベリウスのヴァイオリン協奏曲は、弾いてみたいと温めていた曲。単楽章のみを披露したことはあったものの、1楽章から3楽章まで(約30分)通しで披露するのは今回が初とのこと。どのように聴かせてくれるか楽しみだ。

演奏が始まる。
小柄な森山さんが大きく、大きく感じられるような力強くキレのある演奏。東京文化会館の小ホールいっぱいに、森山さんのヴァイオリンの音が広がる。はずむように弾く姿からは、弾くということ、楽器とともに鳴るということを、心から楽しんでいる雰囲気が醸し出される。
ヴァイオリンを弾いているというより、ヴァイオリンが鳴りたがっているのを一緒に体感している、といったイメージ。ときおり見せるヴァイオリンをいとおしむような表情、ヴァイオリンに視線を落とす際の柔らかな雰囲気、ヴァイオリンとの一体感が印象的。本当に楽しんで弾いているのだなぁと感じ、ぐいぐいと惹き込まれた。
良く鳴り、迫力すら感じさせる演奏。会場のみなさまから、何度も何度も大きな拍手をいただいていた。

「声楽の方たちがお客様だということもあり緊張していたのですが、客席の雰囲気がとても温かくて」と森山さん。難技巧がちりばめられた曲を見事に弾きこなし、本選の緊張感を解き放つという重責を果たした。

写真ご提供：日伊音楽協会（このページのもの全て）

この人のほかの曲も聴きたいなと
思っていただけるような演奏家になりたい

終演後、森山さんに話を聞いた。

ー　よく鳴っていましたね。思い通りに？
「・・・思いっきり楽しんで弾くことができました！・・・（声を小さくして）何か所か、あやしいところもあったんですが・・・」（←聴いている分にはわかりませんでしたが反省点もあったようです）

ー　通しで弾くのは今回が初。が、1楽章から迫力満点。どんな準備を？
「・・・この曲を5月のマスタークラス（ドイツ・クロンベルクアカデミー）にも持って行き
1楽章を見ていただきました」

ーどんな指導をいただきました？
「・・・私は演奏の際に動いてしまうので、とにかく『動くな～、動くな～、動くな～』と指摘をいただきました。今日も（いつもの）８割方動かないようにして弾いたつもりです」
（・・・ヴァイオリンと一体になり、ごくごく自然体でありながら、躍動感あふれる森山さんの演奏。見ているほうからは、そこがまた魅力的に見えたりもするのですが・・・）

ー　声楽コンクールであるため、舞台での事前リハーサルはなく、ある意味ぶっつけ本番。実際に舞台で弾いた感触は？
「・・・リハーサル室でじっくり練習させていただけたので大丈夫でした。ホールもとても弾きやすいホールで。・・・舞台に出た瞬間、ちょっと、どこを向いていいかわからなくて、戸惑いました（笑）」
（東京文化会館の小ホールは舞台から放射線状に客席が広がる特徴ある形体。たしかに迷うかもしれません）

＜演奏会概要＞
◆出演
ヴァイオリン：森山まひる
ピアノ：河地恵理子
◆曲目
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲
　　ニ短調　作品47

ーどんな演奏を目指して？
「・・・お客様に喜んでいただけるような演奏ができればと思っています。自分も、すごく個性的な方の演奏を聴くと、この人の他の曲も聴きたいなぁと思います。音がきれい、演奏が上手、それだけではなく『あぁ、またこの人の演奏が聴きたい。他の曲も聴いてみたい』と思っていただけるような演奏ができる演奏家になりたいと思っています」

高校2年生の森山さん、演奏会当日に、学校の実技試験が終わり、いよいよ夏休みに突入！この夏は石川のマスタークラスに行き、みっちり学ぶ予定だそうだ。

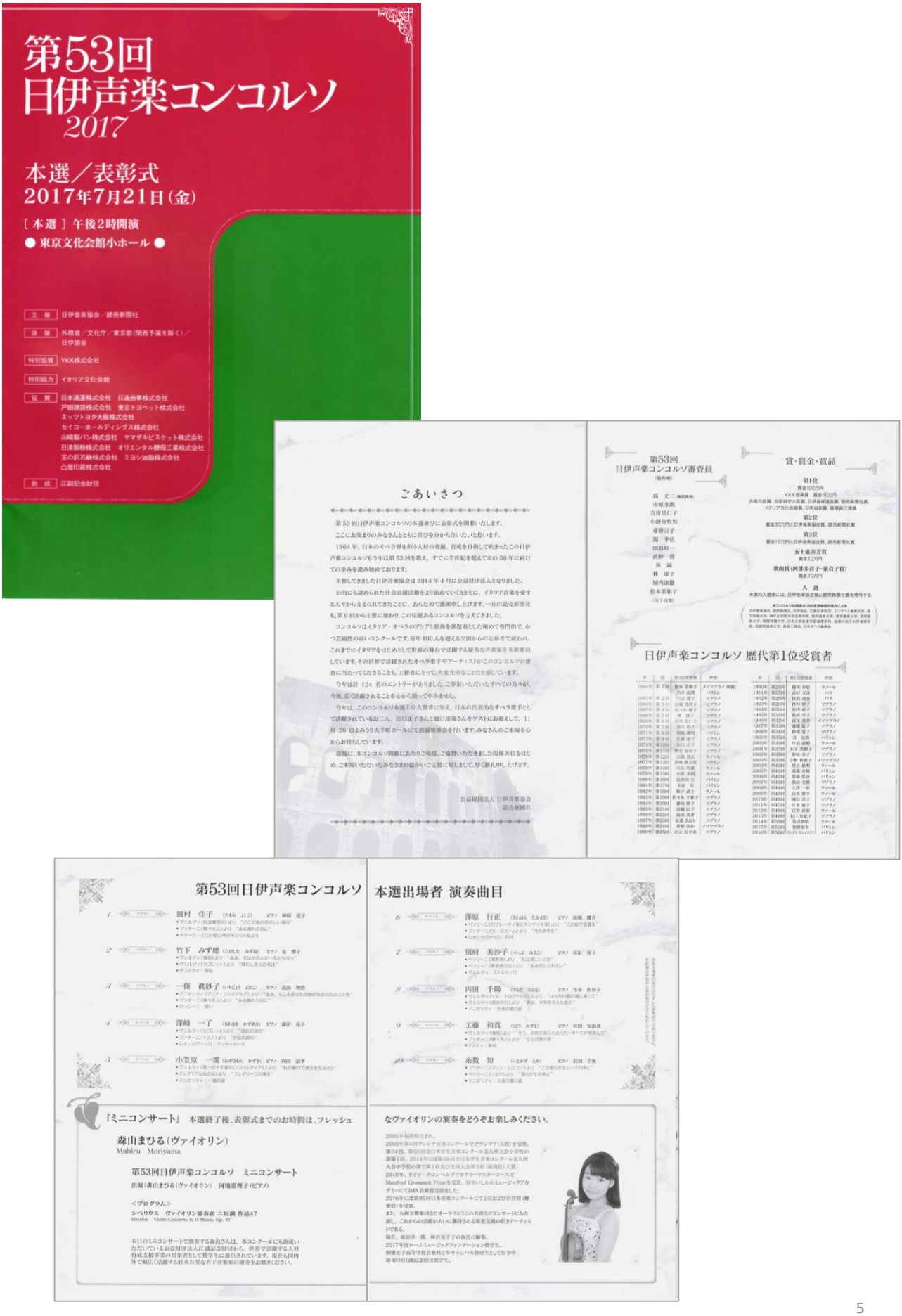
森山さんは北九州出身。8月には地元北九州の響ホールで今回披露したシベリウスをオーケストラと協演する。その他、アクロス福岡での九州交響楽団との協演機会も今年度中に2回予定されているそうだ。
「・・・今年はオケとの機会がたくさんあって、本当にありがたいですし楽しみです」と、にこにこの笑顔で話してくれた。

森山さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

（写真は5月に参加したドイツ・クロンベルクアカデミーでのレッスンの様子です。楽屋での写真がNGだったので、代わりにご紹介します。今回演奏したシベリウスのレッスン、指導されているのは、ミハエラ・マーティン先生です）。

写真：クロンベルクアカデミー公式SNSより

【コンサート・プログラム】



第53回
日伊声楽コンコルソ
2017

本選／表彰式
2017年7月21日（金）

［本選］午後2時開演
● 東京文化会館小ホール ●

主催　日伊音楽協会／読売新聞社
後援　外務省／文化庁／東京都（関西予選を除く）／日伊協会
特別協賛　YKK株式会社
特別協力　イタリア文化会館
協賛　日本通運株式会社　日通商事株式会社
戸田建設株式会社　東京トヨペット株式会社
ネッツトヨタ大阪株式会社
セイコーホールディングス株式会社
山崎製パン株式会社　ヤマザキビスケット株式会社
日清製粉株式会社　オリエンタル酵母工業株式会社
玉の肌石鹸株式会社　ミヨシ油脂株式会社
凸版印刷株式会社
助成　江副記念財団

ごあいさつ

第53回日伊声楽コンコルソの本選並びに表彰式を開催いたします。
ここにお集まりのみなさんとともに喜びを分かち合いたいと思います。
1964年、日本のオペラ界を担う人材の発掘、育成を目的として始まったこの日伊声楽コンコルソも今年は第53回を数え、すでに半世紀を超えて次の50年に向けての歩みを進み始めております。
主催してきました日伊音楽協会は2014年4月に公益財団法人となりました。
公的にも認められた社会貢献活動をより強めていくとともに、イタリア音楽を愛する人々から支えられてきたことに、あらためて感謝申し上げます。一方の読売新聞社も、第6回から主催に加わり、この伝統あるコンコルソを支えてきました。
コンコルソはイタリア・オペラのアリアと歌曲を課題曲とした厳めて専門的で、かつ芸術性の高いコンクールです。毎年100人を超える全国からの応募者で溢れ、これまでにイタリアをはじめとして世界の舞台で活躍する優秀な声楽家を多数輩出しています。その世界で活躍されたオペラ歌手やアーティストがこのコンコルソの審査に当たってくださることも、主催者にとって、大変光栄なことだと感じています。
今年は計 124 名のエントリーがありました。ご参加いただいたすべての方々が、今後、広く活躍されることを心から願ってやみません。
今年は、このコンコルソ本選王位入賞者に加え、日本の代表的なオペラ歌手として活躍されているお二人、吉田正子さんと細口達成さんをゲストにお迎えして、11月26日(土)みうら文手町ホールにて祝賀演奏会を行います。みなさんのご来場を心からお待ちしています。
最後に、本コンコルソ開催にあたりご後援、ご協賛いただきました関係各位をはじめ、ご来場いただいたみなさまの温かいご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人 日伊音楽協会
読売新聞社

第53回
日伊声楽コンコルソ審査員
（敬称略）

高　丈二（審査委員長）
市原多朗
吉川昌仁子
小餅谷哲男
斎藤言子
関　孝弘
田島好一
直野一賀
林　誠
林　康子
堀内康雄
松本美和子
（五十音順）

賞・賞金・賞品

第1位
賞金100万円
YKK奨学賞：賞金50万円
外務大臣賞、文部科学大臣賞、日伊音楽協会賞、読売新聞社賞、イタリア文化会館賞、日伊協会賞、藤原義江賞楯
第2位
賞金30万円と日伊音楽協会賞、読売新聞社賞
第3位
賞金15万円と日伊音楽協会賞、読売新聞社賞
五十嵐芳男賞
賞金20万円
歌曲賞（岡部多喜子・猿真子賞）
賞金20万円
入　選
本選の入選者には、日伊音楽協会賞と読売新聞社賞を授与する

（本コンコルソの開催は、次の各関係者の協力による：
日伊音楽協会、読売新聞社、日伊協会、江副記念財団、ミュゼバーム音楽大学、国立音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、昭和音楽大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、日本大学芸術学部音楽学科、武蔵川女子大学音楽学部、武蔵野音楽大学、青山二葉会、日本オペラ協会）

日伊声楽コンコルソ 歴代第1位受賞者

年	回	第1位受賞者	声部	年	回	第1位受賞者	声部
1964年	第1回	松本 美和子	メゾソプラノ（特賞）	1990年	第26回	藤川 泰裕	テノール
		竹中 由樹	バリトン	1991年	第27回	志村 文彦	バス
1965年	第2回	与志 茂子	ソプラノ	1992年	第28回	林田 達也	バス
1966年	第3回	山崎 美代子	ソプラノ	1993年	第29回	西村 順子	ソプラノ
1967年	第4回	佐々木 優子	ソプラノ	1994年	第30回	宮内 君子	ソプラノ
1968年	第5回	外 康子	ソプラノ	1995年	第31回	藤武 雪子	ソプラノ
1969年	第6回	吉田 良子	ソプラノ	1996年	第32回	高尾 恵美	メゾソプラノ
1970年	第7回	関口 和子	ソプラノ	1997年	第33回	斎藤 紀子	ソプラノ
1971年	第8回	岡崎 雅明	バリトン	1998年	第34回	林田 瑞子	ソプラノ
1972年	第9回	長谷 康子	ソプラノ	1999年	第35回	青 太郎	バリトン
1974年	第10回	清川 正子	ソプラノ	2000年	第36回	中島 嘉晴	テノール
1975年	第11回	神谷 加奈子	ソプラノ	2001年	第37回	赤下 美穂子	ソプラノ
1976年	第12回	高橋 秀夫	テノール	2002年	第38回	野田 香子	ソプラノ
1977年	第13回	長崎 誠太郎	バリトン	2003年	第39回	小野 和歌子	メゾソプラノ
1978年	第14回	白石 邦雄	テノール	2004年	第40回	村上 敏明	テノール
1979年	第15回	市原 多朗	テノール	2005年	第41回	須藤 恭輝	バリトン
1980年	第16回	長谷川 左	バリトン	2006年	第42回	須藤 哲弁	バリトン
1981年	第17回	大田 英	バリトン	2007年	第43回	廣田 美穂	ソプラノ
1982年	第18回	松下 武士	テノール	2008年	第44回	大澤 一也	テノール
1983年	第19回	佐々木 千穂子	ソプラノ	2009年	第45回	白木 新平	テノール
1984年	第20回	藤田 博子	ソプラノ	2010年	第46回	岡田 日子	ソプラノ
1985年	第21回	高橋 昌子	ソプラノ	2011年	第47回	竹下 泰子	ソプラノ
1986年	第22回	島田 美香	ソプラノ	2012年	第48回	宮里 直樹	テノール
1987年	第23回	安達 さおり	ソプラノ	2013年	第49回	山口 知紀子	ソプラノ
1988年	第24回	重教 みゆ	メゾソプラノ	2014年	第50回	羽成 博昭	テノール
1989年	第25回	吉元 万里美	ソプラノ	2015年	第51回	加藤 聖士	バリトン
				2016年	第52回	ウィリ・コンッパ	バリトン

第53回日伊声楽コンコルソ

1 ソプラノ　田村　佳子（たむら　よしこ）　ピアノ　神保　亮子
・ヴェルディ（仮面舞踏会）より　"ここがあの恋のもとい場所"
・プッチーニ（蝶々夫人）より　"ある晴れた日に"
・ドヴーラ：どうか愛の神が来てくれるよう

2 ソプラノ　竹下　みず穂（たけした　みずほ）　ピアノ　金　博子
・ヴェルディ（椿姫）より　"あぁ、そはかのひか一花から花へ"
・ヴェルディ（ロンバルディ人）より　"御おしきみの名は"
・ザンドナイ：雨粒

3 ソプラノ　一條　眞紗子（いちじょう　まさこ）　ピアノ　高島　理恵
・ドニゼッティ（ランメルモールの）ストゥッピダ）より　"あぁ、もしもなたの側がある日もたのこと"
・プッチーニ（蝶々夫人）より　"ある晴れた日に"
・ロッシーニ：涙い

4 テノール　澤崎　一了（さわさき　かずあき）　ピアノ　藤田　亮子
・ヴェルディ（リゴレット）より　"逆恨の涙が"
・プッチーニ（トスカ）より　"妙なる調和"
・レオンカヴァッロ：マッテッチーナ

5 テノール　小笠原　一規（おがさわら　かずき）　ピアノ　内田　清孝
・ヴェルディ（第一回十字軍のエルサレム）より　"私の眼ひで使命を伝えたい"
・チレア（アルルの女）より　"フェデリーコの嘆き"
・ドニゼッティ：一滴の涙

本選出場者 演奏曲目

6 テノール　澤原　行正（さわはら　たかまさ）　ピアノ　高橋　健介
・ベッリーニ（ロミオとジュリエッタ）より　"この胸に覚悟を"
・プッチーニ（ラ・ボエーム）より　"冷たき手を"
・レオンカヴァッロ：四月

7 ソプラノ　別府　美沙子（べっぷ　みさこ）　ピアノ　荒垣　雅子
・ベッリーニ（椿姫）より　"私は美しいこと"
・ベッリーニ（夢遊病者）より　"あぁ恋にられない"
・ヴェルディ：スストルッロ

8 ソプラノ　内田　千鳥（うちだ　ちはる）　ピアノ　寺本　佳裕子
・ヴェルディ（イル・トロヴァトーレ）より　"はられの愛の旋に乗って"
・ヴェルディ（椿姫）より　"乗よ、平和を与え給え"
・ドニゼッティ：永遠の愛と誠

9 テノール　工藤　和真（くどう　かずま）　ピアノ　前田　栄治真
・ヴェルディ（椿姫）より　"そう、よ彼の言うとおりだ－すべてが現実なんだ"
・プッチーニ（蝶々夫人）より　"さらば愛の家"
・ドスティ：無恐

10 ソプラノ　糸数　知（いとかず　ちか）　ピアノ　沢田　千秋
・プッチーニ（マノン・レスコー）より　"この恋がかなレースの中に"
・ベッリーニ（ノルマ）より　"清らかな女神よ"
・ドニゼッティ：元素の愛と誠

『ミニコンサート』 本選終了後、表彰式までのお時間は、フレッシュ

森山まひる（ヴァイオリン）
Mahiru　Moriyama

第53回日伊声楽コンコルソ　ミニコンサート

出演：森山まひる（ヴァイオリン）　河地恵理子（ピアノ）

＜プログラム＞
シベリウス　ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47
Sibelius　Violin Concerto in D Minor, Op. 47

本日のミニコンサートで演奏する森山さんは、本コンクールにも協賛いただいている公益財団法人江副記念財団から、世界で活躍する人材育成支援事業の対象者として奨学生に選出されています。現在も国内外で幅広く活躍する将来有望な若手音楽家の演奏をお楽しみください。

なヴァイオリンの演奏をどうぞお楽しみください。

2000年福岡県生まれ。
2005年第4回ヴェルデ音楽コンクールでグランプリ（大賞）を受賞。
第64回、第66回全日本学生音楽コンクール北九州大会小学校の部第1位。2014年には第68回全日本学生音楽コンクール北九州大会中学校の部で第1位及び全国大会第3位（最高位）入賞。
2015年、ドイツ・クロンベルグアカデミーマスターコースでManfred Grommek Prize を受賞。同年いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞をした。
2016年には第85回日本音楽コンクールにて2位および岩谷賞（聴衆賞）を受賞。
また、九州交響楽団などオーケストラとの共演などコンサートにも出演し、これからの活躍が大いに期待される将来気鋭の若手アーティストである。
現在、原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。
2017年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生。
桐朋女子高等学校音楽科2年キャンパスに特待生として在学中。
第46回江副記念財団奨学生。